



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 英和株式会社

コード番号 9857 URL <http://www.eiwa-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿部 健治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 山根 理伸

TEL 06-6539-4801

四半期報告書提出予定日 平成27年11月9日

配当支払開始予定日

平成27年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	14,332	△6.5	262	△21.1	270	△20.4	154	△18.6
27年3月期第2四半期	15,336	26.5	332	203.4	339	150.5	189	189.6

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 143百万円 (△25.8%) 27年3月期第2四半期 193百万円 (91.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	24.40	—
27年3月期第2四半期	29.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	18,520	7,790	42.1
27年3月期	21,758	7,754	35.6

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 7,790百万円 27年3月期 7,754百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.00	—	17.00	22.00
28年3月期	—	5.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	17.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	1.9	1,030	2.1	1,030	△0.1	584	△0.1	92.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	6,470,000 株	27年3月期	6,470,000 株
28年3月期2Q	140,796 株	27年3月期	140,764 株
28年3月期2Q	6,329,220 株	27年3月期2Q	6,329,705 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9
5. その他	9
役員の異動	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）におけるわが国経済は、政府による経済政策や円安、原油安によるエネルギーコスト削減効果等を背景に企業収益は改善が見られました。しかしながら、中国株の暴落など脆弱な新興国経済や欧州経済の財政問題などの影響を受けわが国の輸出は振るわず、緩やかな景気回復の動きが一服する傾向が見られました。

当社グループの既存事業領域である石油化学、鉄鋼、機械製造業界等においては、設備の統廃合の加速や円安に伴い、生産財の生産拠点を再び国内に戻す動きが徐々に広がりつつありますが、設備投資に対しては足元の収益環境の変化を見極めつつなお慎重な姿勢が見られます。

このような状況下、当社グループにおきましては、経営基本方針として「新たな成長への挑戦と強靱な収益構造の確立」を新たに掲げ、産業構造の変化に対応した強固な経営基盤作りを推し進めました。顧客密着営業の強化を引き続き重点営業戦略とし、工場設備の安全、安定操業、省力化へのシステム提案取組、防災・省エネ・環境に対応した産業機械の新規派生商材の発掘と拡販に注力いたしました。

その結果、建設業向け産業車両、鉄鋼製品製造業向け各種産業機械設備、船用機器製造業向け計測制御機器等の販売が堅調に推移したものの、機械製造業、プラント・エンジニアリング他国内業界全般的に設備投資が低調で、当第2四半期連結累計期間の売上高は143億32百万円（前年同四半期比6.5%減）となり、売上総利益22億25百万円（同3.1%減）、営業利益2億62百万円（同21.1%減）、経常利益2億70百万円（同20.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億54百万円（同18.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ32億37百万円減少し185億20百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が前連結会計年度末に比べ30億71百万円減少したことが主な要因であります。

一方負債では、前連結会計年度末に比べ32億73百万円減少し107億29百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が26億77百万円、未払法人税等が2億30百万円それぞれ減少したことが主な要因であります。

純資産は利益剰余金の配当による減少が1億7百万円、その他有価証券評価差額金の減少が13百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益が1億54百万円であること等により、前連結会計年度末に比べ35百万円増加し77億90百万円となりました。その結果、自己資本比率は42.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は30億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億98百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、11百万円となりました（前年同四半期連結累計期間は4億1百万円の減少）。これは、売上債権の減少額30億74百万円に対し、仕入債務の減少額が26億80百万円であったこと、法人税等の支払額が2億71百万円であったこと等が主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、61百万円となりました(前年同四半期連結累計期間は15百万円の減少)。これは主に、定期預金の預入による支出が19百万円、有形固定資産の取得による支出が32百万円あったことによるものであります。

これにより、営業活動によるキャッシュ・フローと、投資活動によるキャッシュ・フローをあわせたフリー・キャッシュ・フローは、73百万円のマイナスとなりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、1億27百万円となりました(前年同四半期連結累計期間は1億35百万円の減少)。これは、長期借入れによる収入が1億円あった一方で、長期借入金の返済による支出が1億20百万円、配当金の支払額が1億7百万円であったことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期連結業績予想につきましては、現時点では平成27年5月12日に発表いたしました業績予想通り変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はございません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,205,996	3,027,111
受取手形及び売掛金	14,419,580	11,348,212
たな卸資産	644,268	773,391
その他	388,227	264,339
貸倒引当金	△1,468	△1,196
流動資産合計	18,656,605	15,411,858
固定資産		
有形固定資産	1,488,233	1,482,413
無形固定資産	166,237	147,889
投資その他の資産		
その他	1,497,229	1,528,571
貸倒引当金	△50,155	△50,555
投資その他の資産合計	1,447,074	1,478,015
固定資産合計	3,101,544	3,108,318
資産合計	21,758,150	18,520,177
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,087,810	8,409,925
1年内返済予定の長期借入金	583,261	690,000
未払法人税等	291,581	60,709
賞与引当金	426,840	243,634
役員賞与引当金	24,000	7,550
その他	483,711	302,597
流動負債合計	12,897,205	9,714,416
固定負債		
長期借入金	550,000	423,185
引当金	173,965	177,637
退職給付に係る負債	304,499	337,524
その他	77,943	77,203
固定負債合計	1,106,407	1,015,551
負債合計	14,003,613	10,729,967
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,533,400	1,533,400
資本剰余金	1,567,550	1,567,550
利益剰余金	4,525,461	4,572,321
自己株式	△50,737	△50,761
株主資本合計	7,575,673	7,622,510
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112,133	98,527
為替換算調整勘定	17,040	20,510
退職給付に係る調整累計額	49,688	48,661
その他の包括利益累計額合計	178,862	167,699
純資産合計	7,754,536	7,790,209
負債純資産合計	21,758,150	18,520,177

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	15,336,309	14,332,587
売上原価	13,040,027	12,106,834
売上総利益	2,296,282	2,225,752
販売費及び一般管理費	1,964,083	1,963,597
営業利益	332,198	262,155
営業外収益		
受取利息	1,441	916
受取配当金	4,555	5,129
仕入割引	9,923	9,443
その他	9,538	9,062
営業外収益合計	25,457	24,552
営業外費用		
支払利息	7,105	6,346
支払保証料	6,507	5,490
為替差損	1,902	2,049
その他	2,737	2,766
営業外費用合計	18,253	16,653
経常利益	339,403	270,054
税金等調整前四半期純利益	339,403	270,054
法人税、住民税及び事業税	97,869	41,307
法人税等調整額	51,675	74,289
法人税等合計	149,545	115,597
四半期純利益	189,858	154,457
親会社株主に帰属する四半期純利益	189,858	154,457

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	189,858	154,457
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,846	△13,606
為替換算調整勘定	△8,682	3,469
退職給付に係る調整額	1,007	△1,026
その他の包括利益合計	3,171	△11,162
四半期包括利益	193,029	143,294
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	193,029	143,294
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	339,403	270,054
減価償却費	39,335	36,105
のれん償却額	17,213	17,213
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,056	127
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	32,906	31,510
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,305	3,672
受取利息及び受取配当金	△5,996	△6,046
支払利息	7,105	6,346
売上債権の増減額(△は増加)	1,795,079	3,074,702
たな卸資産の増減額(△は増加)	△270,659	△128,765
その他の流動資産の増減額(△は増加)	5,825	38,775
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,903,528	△2,680,519
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△171,413	△218,367
その他	△10,067	△185,347
小計	△122,547	259,463
利息及び配当金の受取額	6,083	6,068
利息の支払額	△6,987	△6,297
法人税等の支払額	△278,094	△271,147
営業活動によるキャッシュ・フロー	△401,546	△11,914
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△19,979
有形固定資産の取得による支出	△12,511	△32,177
無形固定資産の取得による支出	△568	△6,536
投資有価証券の取得による支出	△1,525	△1,608
その他	△1,240	△905
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,845	△61,206
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	100,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△170,000	△120,000
自己株式の取得による支出	△2,059	△24
配当金の支払額	△63,283	△107,189
財務活動によるキャッシュ・フロー	△135,343	△127,213
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,354	1,469
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△559,090	△198,864
現金及び現金同等物の期首残高	2,616,206	3,205,996
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,057,115	3,007,132

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社グループは、工業用計測制御機器、環境計測・分析機器、測定・検査機器、産業機械等をユーザーへ販売（一部製造販売）することを事業としております。取扱商品の内容、販売市場、販売方法、サービスの提供方法が類似していること等から判断して、当社グループの事業区分としては単一セグメントであるため、記載を省略しております。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績は、次のとおりであります。

品目別	生産高 (千円)
工業用計測制御機器	128,876
産業機械	107,164
合計	236,041

(注) 1 上記は製造を行っております連結子会社(双葉テック株)の合計金額であります。

2 上記金額は製造原価によっております。

3 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第2四半期連結累計期間における受注実績は、次のとおりであります。

品目別	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
工業用計測制御機器	160,593	58,977
産業機械	125,921	122,147
合計	286,515	181,124

(注) 1 連結子会社(双葉テック株)において受注生産を行っております。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における品目別の販売実績は、次のとおりであります。

品目別	販売高 (千円)
工業用計測制御機器	7,086,450
環境計測・分析機器	1,030,409
測定・検査機器	843,803
産業機械	5,371,923
合計	14,332,587

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

5. その他

役員の変動

役職の変更

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役 専務執行役員 (社長補佐)	取締役 執行役員 (営業副本部長)	阿部 吉典	平成27年10月1日

詳細につきましては、平成27年9月18日公表の「組織変更および人事異動のお知らせ」をご覧ください。